

# NOOS LECTURE 2019 **IN 福岡**

5月から始まったヌースレクチャー2019シリーズもあつという間にもう第3回目。今回は『奥行きの子供たち』第3章の「ロード・オブ・ザ・リング——神教の精神と自我の成り立ち」の内容をベースにいろいろと話してみたいと思っています。ここでいう「一神教精神」とは、本にも書いたように、人類史の営みをその根底で支えてきたと言っても過言ではないユダヤ - キリスト教的精神のことを意味します。しかし、多神教が支配的であった古代社会になぜ突如としてユダヤ - キリスト教のような一神教が登場してきたのか——その謎は研究者の間でも明らかにはなっていません。近代に起こった科学主義や、貨幣が絶対的な権力として振る舞う資本主義経済も、このユダヤ - キリスト教的な一神教精神の嫡子と言っているような存在です。今回はこの「一神教の精神」を『ロード・オブ・ザ・リング』に登場した冥王サウロンにイメージを重ね、ヌースロジーによるアツと驚く歴史解釈をご紹介します。



## ■第3回 アンチサウロンの時代へ

『ロード・オブ・ザ・リング』の影の主演とも言える冥王「サウロン」。そのシンボルは闇の中で赤く輝く一つの目だった。その目はスーパーパノプティコンのように、あらゆる人間の心の中を覗き込んでいる。そして、その目に魅せられた者は、どんな聖者、勇者であろうともエゴ的に振る舞い、一転して権力の虜となってしまう。言ってみれば、「サウロンの目」とは、人間の中に巣食うエゴの力の源泉とも解釈できるのではないか。この「サウロンの目」から逃れて、エゴを超えていくためには、「サウロンの指輪」を聖なる火の力によって焼却しなければならない。果たして、そのことに秘められた意味とは——。

■ 日時：2019年 9月 28日（土曜日）

開場・受付 12:30～  
レクチャー 13:00～17:30  
懇親会 18:30～

■ 場所：リファレンス駅東ビル貸会議室  
3F 会議室 H-4

■ 料金・お支払い方法：

- レクチャー 4,000円（学割 2,000円）
- 懇親会 4,000円（要予約、18:30～）
- 当日払い（会場受付にて現金支払い）
- 事前支払い（ショップサイトにてカード支払い）

■ 問い合わせ先：ヌースアカデメイア

TEL. 092-402-6999（平日 9:30～18:00）  
レクチャー当日 TEL. 070-2319-6287  
mail: info@noos-academeia.com

## ■交通アクセス

リファレンス駅東ビル貸会議室  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目16-14（JR博多駅より徒歩5分）



## ■参加申し込み方法

ウェブ (<https://noos-academeia.shop/>)、お電話、メールにて受付中です。定員に達し次第、締め切らせていただきます。